



ユーモアをもって個性を尊重し、新しい価値を提案する

3カ年の活動の方向案「誰もが自分らしく暮らせる地域へ向けて」

(2019年の事業計画)

2019年度:放課後デイ利用者7.3人→9人/日へ ← 2020年度に達成 9.74人/日

活動の方向決定

:子どもの文化的な遊び場+障害者の就労

2020年度:障害者が行う作業(仕事)を創る

成人の利用者募集 →利用者1名

建物建設 →交ゆう館かなみ本館完成 ← 2020年度に達成

← 2021年度に開始 2021年度:成人の事業開始

スタッフ:常勤1名、パート1名の雇用

利用者:目標4名/日

・・・利用者:1.46名/日(未達成)

(2022年の事業計画)

2022年度:日中活動事業(放デイ/就労)の安定化

①就B利用者:2021年度1.46名/日→目標4名/日

②事業の核となる現場スタッフの育成



2023年度:宿泊を伴う事業の通常運営

←スタッフの数の確保と支援力向上 自主事業(学びと遊び)の自立を目指す ←制度事業の収益向上を図る



2024年度:自主事業の自立

○地域に担い手を育成する

奏海の杜2022「誰もが自分らしく暮らせる地域へ向けて 4年目」―

- 1) 障害児の療育・・・安心できる場、卒後を見通した療育
 - ●放課後等デイサービス (定員10)
 - ●ショートステイ (定員3)
 - ●保育所等訪問支援事業
- 2) 障害者の社会活動・・・本人に合った自立、障害理解
 - ●就労継続支援B型事業(定員10)
- 3) 生涯学習・・・仲間、知り合う機会
 - ●学びと遊び
- 4)組織基盤強化
 - ●事務局体制の充実

- 1) 障害児の療育・・・安心できる場、卒後を見通した療育
 - ●放課後等デイサービス:子ども広場にこま~る(定員10)

利用者:10名/日(定員上限:現状維持)

2021年度で高校生が4名卒業 → 2022年度は小学部低学年が増えた

- ○「年齢の若返り」「卒後を意識した活動に焦点」
 - → 活動内容、支援方法の精査 ex) おしゃべりタイム(7月~)
- ○芸術のもりのかなプロが終了 → 外部講師の依頼
- ○地域活動の再開(にこワゴン/発表会)・・・コロナウイルスの状況を見ながら
- ○新規職員:法人内での研修の検討
- ●ショートステイ:おとま~る(定員3)

2022年2月に再開・・・支援員不足により継続的な運営が困難。

- ○自立生活に向けたトレーニングとしての利用要望が多い。
 - → 当面、緊急時に限って受け入れる
- ●保育所等訪問支援事業 (中田中学校)

2021年3月で校長が退職、担当教員が移動・・・後任者の意向の違い

- ○学校支援員としての役割を求められる。
- ○本人たちの生活の変化:転校(支援学校へ)等
 - → 静観し、学校からの要請があれば対応する。

- 2) 障害者の社会活動・・・本人に合った自立、障害理解
 - ●就労継続支援B型事業所: 就労支援事業所かなみのもり (定員10)

利用者:4名/日をめざす

- ①施設外就労
 - (1)農業:2021年度に関わってもらった3カ所(おっとちグリーンステーション、
 - いなほ、高橋農園)で継続+1カ所を開拓
 - (2)冬季の仕事の開拓:農業(ハウス内作業など)
- ②施設内活動
 - (1)施設内請負作業:シンワ電装+1カ所を開拓(作業が途切れないように)
 - (2)カフェ活動
 - ○にこま~るとの連携(にこまるキッチン)は継続
 - ○地域交流室をブックカフェを目指して整備する

(まちライブラリー、コーヒーメーカー 真如苑支援)

- (3)商品販売
 - ○笑YOUクッキー: 市内販売活動
 - ○「交」majiwari:オンラインストア https://majiwari.stores.jp/
 - ○登米市障害者優先調達推進法対象商品カタログ
 - ○NPO法人みやぎセルプ協働受注センター https://www.miyagi-selp.org/

※ スタッフ・・・放デイ/就労事業でそれぞれ現場の柱となる人材の育成を図る















●学びと遊び

【昨年からの変更点】

- 講師:地域の方々
- 日曜日の開催
- 一律で500円を徴収
- 就労事業所かなみのもりの利用者も自由参加





お気軽に お問い合わせ ください♪

学び"と遊び"2022



受行表 /NPOは1 募集の計 〒997-0707 宮崎田泰平市泰平町赤地區小路96-3 https://kanaminomori.org/ **20**0270-44-4171

知りたいこと、やってみたいこと、 暮らしの中でのちょっとひと息。 大人のための「学び」の時間を、もっと楽しく。

日時:毎月 第3日曜日 ※8月と10月は第4日曜日

10:30~11:30

P.



※ 建物の裏側(北側)の駐車場が満車の場合は 県道沿いの観光駐車場をご利用ください。

参加費:500円

※ 活動に必要な物はこちらで準備します。 講座によっては、実費をご負担 いただきます。

内容:

| 6/19 | 心を伝えよう |
|-------|-----------------------|
| 7/17 | 花に親しもう |
| | 本がある暮らし 84日曜日です。 |
| 9月 | (一回休み) |
| | 秋の自然を楽しもう 第4日曜日です。 |
| 11/20 | X'masリースをつくろう |
| 12/18 | 年賀状をつくろう |
| 1/15 | 笑文字に触れよう |
| 2/19 | 海のことを知ろう |
| 3/19 | 眠りと健康 |

【申込み/お問い合わせ】

窓口: NPO法人奏海の杜 (担当サイジョウ/ダザイ) 電話 (0220-44-4171:平日9:00~18:00) かメール (koyukan@kanaminomori.org) で、参加される方全員のお名前、ご所属、電話番号、メールアドレス、 参加したい講座名をお知らせください。



赤い羽共同募金

「参加と協働による新たな地域共生社会作り支援事業」による

4) 組織基盤強化

●事務局体制の充実

船:組織基盤 積荷:プロジェクト(事業)

→奏海の課題:積荷ばかり大きくなって、 船がなかなか充実しない。

【船を強くするために大切なこと】: 民間NPОセンター・将来を展望する会(全国の中間支援組織сео)

- (1) 明確なミッションを持って、継続的な事業展開をしていること。
- (2) 特定の経営資源のみに依存せず、財政面で自立していること。 → 2021年度:就労事業の開始
- (3) 事業計画・予算の意思決定において自律性を堅持していること。
- (4) 事業報告・会計報告などの情報を積極的に公開していること。
- (5) 組織が市民に開かれており、その支持と参加を集めていること。
- (6) 最低限の事務局体制が整備されていること。
- (7)新しい仕組みや社会的な価値を生み出すメッセージを発信していること。 → 2021年度

→ 2021年度 ○SNS:毎日発信 ○こうゆうかん:季刊 ○2022年度の課題:HP

2022年度 重点課題・・2021年度から継続

- 1) 市民の参加を促す:メッセージの発信、広報
- 2) 事務局体制の構築:専門家へのアウトソーシング+事務局員の雇用
- 3) 収入源の多角化:放デイ→就労→制度事業以外を模索